

Piano Lessons for a Child with Congenital Limb Defects

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-07-28 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 須田, マリ メールアドレス: 所属:
URL	https://saigaku.repo.nii.ac.jp/records/702

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



先天性四肢障害児のためのピアノ指導

須 田 マ リ

はじめに

先天性四肢障害とは生まれつき手足の一部に欠損や変形などの障害があること（先天性四肢障害児父母の会，1984）である。

本研究の対象児 A 児（8 歳）は先天性障害のため、右手指 2 本（この 2 本は 1 本だったものを切り離したので、独立して動かすことはできない）左手指 1 本である。両手合わせて 3 本の指で 4 歳からピアノを練習して 4 年目になる。A 児のように指が欠損していても、高度なピアノの演奏ができ、ピアノを通して音楽を学び、楽しむことができる。本稿ではこの事例に基づき、先天性四肢障害児のためのピアノ指導について考察し、教材の選曲、奏法、編曲について検討する。

先天性四肢障害

先天性異常の発生率について日本では全国レベルの疫学調査がほとんどなく、正確な実態はわかっていない。先天性四肢障害児父母の会の資料によると、1978 年から 81 年（昭和 53 年から 56 年）の 4 年間の東京都の都立の病院と産院（10 医療機関）の調査がある。これには 16 週以降の死産を含む全出産児について、出産時、または生後 1 週間以内に発見され、診断された先天異常者の内容が発表されている。4 年間の出産数 47,169 名の中に、患者数は 3,430 名、7.3%になる。しかし、先天異常に含まれる疾患の種類は多く、ひとつの疾患あたりで見るとその患者の発生頻度はきわめて少ない。この調査の中で、副耳、内反足、色素性母斑、血管腫などは症状が軽く日常生活上支障がないか、自然に治癒する。こうした軽い症状の 4 つの疾患を除くと、先天異常患者の合計は 1,794 名で、3.8%となる。

荻野（1990）によると、手の先天異常は 1 パーセント前後と考えられているが、もちろんどの程度の範囲を異常とするかによって、頻度は当然違ってくるので、軽度のものまで含めると極めて稀なことであるとは言えない。

現在小学校 3 年生（8 歳）の A 児（男児）について、2007 年幼稚園年中（4 歳）の 11 月に

「指が2本しかないが、ピアノを習いたい」という相談と紹介を受け、指導をはじめた。週に1回30分から40分の個人レッスンを1年間に46回行い、4年目になる。A児は公立小学校の普通学級に通い、音楽も勉強も好きで活発で成績も良い。足指にも欠損があるが、歩くこと、走ることができる。幼稚園児の時から体格は平均よりも小さく、小学校3年生の男児の平均身長が128 cmであるのに対し、現在約115 cmである。左手は腕とほとんど変わらない太さの手のひらと手の甲の部分から1本指（4指欠損）で、手首と指の関節を曲げることはできない。左腕の肘はほぼ直角で、曲げ伸ばしはできない。右手の場合は、もともと1本の指と小さいもう1本の指がくっついていて手術によって2本にしている。その2本は1本ずつ別に動かすこと、関節を曲げること、指と指の間を広げるようなことはできない。右肘は曲げ伸ばしができる。両腕とも、肩の関節から動かすことができる。

A児がピアノを弾きたい、習いたいと思ったきっかけは、テレビで観た韓国のピアニスト、イ・ヒア（李喜芽）^(註)だった。幼稚園児であった当時、「将来は幼稚園の先生になりたいのでピアノを練習したい」としっかり話していた。現在家庭では鍵盤の重さがアコースティックピアノとほぼ等しい電子ピアノを使って練習し、音楽好きな両親と弟の4人家族全員でピアノのレッスンに通ってきている。

レッスンのための教材

A児のレッスンでは、基本的には左右ともに重音がない曲を選ぶ必要がある。ただし、通例片手で重音を弾く曲や、楽譜上重音であっても、もう一方の手で補う工夫ができることもある。例えば「ねこふんじゃった」は右手と左手で分担を変えると、1本ずつの指でも音を省くことなく弾くことができる。また、単旋律であっても、跳躍進行のために腕に負担がかかり過ぎないことなど、指や腕の強さ、使い方を考慮する必要がある。複数の指を使えば腕の左右の移動なく弾ける旋律であっても、1本の指では肘または肩から動かす必要がある。隣の鍵盤を弾く場合にも肘または肩を支点にして指を移動することになる。A児の場合、現在ではかなり速い移動ができるようになり、跳躍のコントロールも正確になってきている。バイエル103番では左手アルベルティバスの伴奏形、右手の16分音符の音階（譜例1）を含むが、♩=80くらいで弾くことができる。



譜例1 バイエル103番より

幼稚園や、小学校、テレビで接する身近な曲を取り入れることについても配慮した。その時々
の好きな歌や、知っているメロディ、母親が子どもの頃習ったことのある曲は日常の中にピアノ
の練習をとけこみやすくできる。反対に、知らなかった初めての曲、弾けるようになることが新
鮮に感じられる曲にも取りくんだ。練習に集中できる体力、時間など考慮して選んできた曲を次
の3種類に分類した。

1. 出版譜
2. 各種の出版譜からコピーした曲を修正したもの
3. 編曲したもの

表 教材とした曲（記載は学習した順）

1. 出版譜		
石丸由理	ともだちピアノ A	
2. 各種の出版譜からコピーした曲を修正したもの, 3. 編曲したもの		
作 曲 者	曲 名 (番号)	教 本 (空欄は編曲したもの)
不詳	ねこふんじゃった	
林光	オスティナート	林光・ピアノの本
中川ひろたか	虹	
長曾葉子	FRIENDS (母親と連弾)	
バイエル	No. 44 45	バイエルピアノ教則本
ステッカー&ホロヴィッツ	みつばちのブギ	ラーニング トゥ プレイ ロックリズム・ラグタイム
ステッカー&ホロヴィッツ	青空のブギ	ラーニング トゥ プレイ ロックリズム・ラグタイム
ステッカー&ホロヴィッツ	ミシシッピの蒸気船	ラーニング トゥ プレイ ロックリズム・ラグタイム
バイエル	No. 53 54	バイエルピアノ教則本
レオポルド・モーツァルト	メヌエット	
バッハ	メヌエット	アンナ マグダレーナのためのクラヴィーア小曲集
ウィリアムズ	インディージョーンズのテーマ (母親と連弾)	
バーナム	ロッキングチェア	バーナム ピアノテクニク 導入書
ロジャーズ	ドレミのうた	
バーナム	ぐるぐるまきのブランコなど6曲	バーナム ピアノテクニク 導入書
GReeceN	キセキ (父親と連弾)	
ステッカー&ホロヴィッツ	ジャズモビール	ラーニング トゥ プレイ ロックリズム・ラグタイム
久石 譲	さんぼ	
バイエル	No. 59 60	バイエルピアノ教則本
たなかひろかず	ハイタッチ (ポケモンのテーマ)	
ツェルニー	しごとのうた	ピアノのおともだち
ケーラー	ひこうきぐも	ピアノのおともだち
バイエル	No. 63	バイエルピアノ教則本
ディアバリ	あめんぼう	ピアノのおともだち
ケーラー	メロディ	ピアノのおともだち
100+	Believe (嵐)	
ケーラー	みんななかよく	ピアノのおともだち
バイエル	No. 78	バイエルピアノ教則本
平吉毅州	たんぼぼがとんだ	虹のリズム
バイエル	No. 79 83 85	バイエルピアノ教則本
ギロック	えものをねらう子猫	ピアノピースコレクション1
杉本竜一	ビリーブ (母親と連弾)	
ギロック	楽しいダンス	ピアノピースコレクション1
Masashi Ohtsuki	Troublemaker (嵐)	
バイエル	No. 86	バイエルピアノ教則本
ギロック	月の光	ピアノピースコレクション1
たなかひろかず	ベストウィッシュ (ポケモンのテーマ)	
田中カレン	きりん	星のどうぶつたち
小林亜星	にんげんっていいな	
バイエル	No. 91 61 103	バイエルピアノ教則本
CHI-MEY	Monster (嵐)	
平吉毅州	月夜のコロボックル	南の風
ギロック	海の霧	ピアノピースコレクション1
モーツァルト	アレグロ	子どものモーツァルト
宮下浩司	マル・マル・モリ・モリ!	

1. 出版譜「ともだちピアノ A」

導入教材として市販の「ともだちピアノ A」(石丸由理 1988)を1冊購入し、部分的に抜粋したが、大部分を用いた。幼児用のピアノ教材によく見られる左右の手のイラスト(指の番号を示してあることも多い)や、手の形を示す写真がなく、1冊通して指づかい、指の番号が書かれていない(「ともだちピアノ」シリーズでは、2冊目から指の番号を学習する)。ピアノを始めてからしばらくの間、指の番号を教わらないことがすべての子どもにとって適切であるとは限らないだろう。しかし、手指の欠損のある子どもにとっては使いやすい。

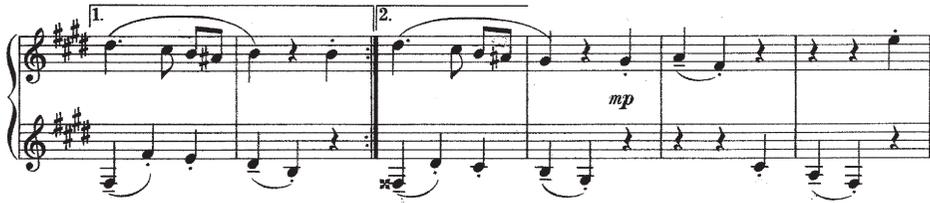
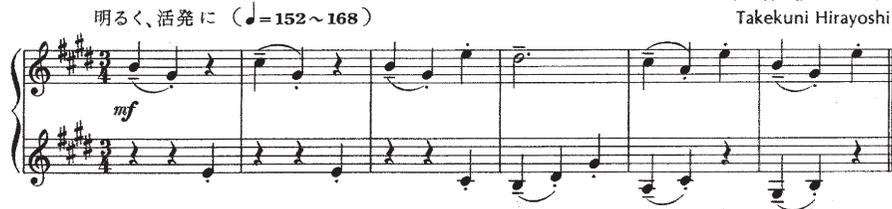
「ともだちピアノ A」は4歳から8歳を対象とした導入本である。「ともだちピアノ A」が4歳から8歳の子供達に適している理由は次のような点にある。中央のドから左右の手がひとつずつ音を増やしていく学習の順序(右手はド、レ、ミ…、左手はド、シ、ラ…の順)。右手と左手を鍵盤上の近い場所で使い始めることは1オクターブ離して使うよりも身体の小さい子どもの場合、抵抗が少ない。また両手が接近していることで左右の手で分担してメロディーを弾くこともできる。「ともだちピアノ」シリーズでは、知っているメロディーが時々出てくる、歌いながら練習できる楽しい曲(替え歌をつくる、絵描き歌)、かわいいイラストなど、子ども達が楽しみながら演奏と音楽のしくみを学ぶための工夫がされている。

2. 各種の出版譜からコピーしたものを修正したもの

10本指のために書かれた出版譜を1冊そのまま使うことはできない。一度に弾けない和音、指づかいの数字が書かれている。導入教材から今日まで、出版譜に印刷されている指づかいの数字は修正液で消すことにした。将来は楽譜に指の番号が記されていることに気づくことになるが、現時点ではピアノを楽しみ、弾くことに集中できる環境を整えるため、コピーした楽譜の数字を消したものを、もう一度コピーして渡している。同様に部分的に重音を単音に修正をおこなった。

現在、ブルグミュラー25の練習曲を弾ける程度の時期にきているが、ブルグミュラーや、ツェルニー、ソナチネなど、一般的にレッスンでよく用いられる曲集の中で使える曲は少ない。しかし、出版されているピアノ曲の中から、指が欠損していても演奏できる曲を見つけ出すことはできる。A児の場合は、平吉毅州「たんぼぼがとんだ」(「虹のリズム」より)、田中カレン「キリン」(「星のどうぶつたち」より)など、子どものためにかかれた作品を楽しんで弾くことができた。

障害があるために重音が弾けないという問題の次に直面するのは、単音の連続がどうしてもノンレガート、スタッカートようになってしまうことである。これを少しずつレガートに近づけていくための練習に平吉毅州「月夜のコロボックル」(「南の風」より)を用いた。

平吉毅州作曲
Takekuni Hirayoshi

譜例2 「月夜のコロボックル」より

テヌートのついた最初の音にしっかり重心をかけ、そこからの反動で次の音につなぎ、スタッカートで切る、という奏法を練習することで、左右の手それぞれ1本の指でも2つの音がつながって聴こえるように弾くことができた。小さい体でも、体重のかけ方で十分に響きを作ることができ、離れた鍵盤であってもスラーがかけられる。またこのことによって、3拍子のリズムの楽しさも表現できる。指先だけでなく、全身をつかってピアノを弾くことをさらに発展させ、メロディーをより歌わせる演奏ができるようにしたい。

また今後も邦人作品を含む近現代の曲や、2声のポリフォニックな曲も選んで、ピアノによる表現の世界を広げたいと考える。

3. 編曲したもの

幼稚園や小学校で歌った好きな曲、テレビのアニメのテーマ曲、両親も好きな「嵐」の曲を弾きやすいように編曲し、楽譜を作成した。黒鍵とペダルの活用、連弾について工夫して編曲を行った。

(1) 黒鍵の活用

通常ピアノの初心者の導入指導においては、白鍵を多く使う調の曲から学習することが多い。はじめにハ長調を学習する場合、白鍵のみで演奏することができ、わかりやすい。その後少しずつ黒鍵を増やしていく。しかし、手指が欠損している小さな子どもの場合は、早い時期から黒鍵も有効に使うことで演奏しやすくなる場合がある。指から手の甲の部分を手の前に向け

て立てて使い、黒鍵を弾くことによって、いくつかの和音を弾くことが可能になる。白い鍵盤は弾くために押し下げなければフラットな状態で隣の鍵盤との間に隙間がない。そのため、長2度、短2度は一度に押さえることができる。つまり1つの鍵盤の幅より広く押さえれば、隣の音を一緒に弾いてしまうことになる。よって、1本の指で白鍵上の3度を押さえることはできない。それに対して、黒鍵はB (Ais) と Des (Cis), Es (Dis) と Ges (Fis) の間に黒鍵がない。したがって、手の向きを変えることによって2つの黒鍵を同時に押さえると、短3度を弾くことができる (譜例3)。



譜例 3

Des (Cis), Es (Dis), Ges (Fis) および Es (Dis), Ges (Fis), As (Gis) を同時に押さえることもできる (譜例4)。



譜例 4

1本の指で弾くということは、隣の音であってもスラーをかけることが難しいが、その中で黒鍵から白鍵への半音をすべりおることで弾けるスラーを使うことができる。

(2) ペダルの活用

ピアノには足を使うペダルが2本または3本ある。右側のペダル (ダンパーペダル) を踏むことによって、ピアノの全弦のダンパーが弦から離れることで鍵盤から指を離しても音が続くほか、打たれた以外の弦も共鳴を起し、響が厚くなる。指が1本または2本しかなく、一度に複数の鍵盤を押さえにくい障害がある場合、「和音を弾く」というピアノにとって重要な表現がどうしても欠けてしまうが、ダンパーペダルで和音と響をつくることを補うことができる。体格も小さい障害児は床まで足が届かず、ピアノ用の補助ペダルを用いる。前述の韓国のピアニスト、イ・ヒアは膝下の足がないが、日本製の特別注文の補助ペダルを用いている。補助ペダルには足台付きのもの、ペダルに直接取り付けものの2種類が市販されており、近年高さの調節がしやすくなり、また踏む力が弱くても踏みやすくなるよう、改良されている。

譜例5は黒鍵とペダルを活用した例として「ベストウィッシュ」(たなかひろかず、ポケモンのテーマ) の一部分である。

25

29

33

37

譜例5 「ベストウィッシュ」より

(3) 連弾

何年かピアノを習った経験のある母親と、全く経験の無い父親のそれぞれと家庭で連弾したり、発表会でも独奏と連弾の両方を演奏できるように、連弾曲の編曲も行った。ピアノ指導における連弾の教育的効果については多く語られているところであるが、A児の場合も、セカンドの母親や、父親と一緒に弾くことの嬉しさ、安心感があり、一緒に練習することで独奏とは違う興味をもって、集中することができた。連弾は和声的にも充実し、楽しみながら弾く経験となった。最近では両親よりも上達したため、ファーストのA児のほうがより複雑な内容で演奏できるようになった。連弾のための編曲においても黒鍵を使って弾きやすくした（譜例6）。

monster

The musical score for 'monster' is presented in three systems. Each system consists of two staves for Piano 1 and Piano 2. The key signature is five flats (B-flat major/C minor) and the time signature is 4/4. The first system includes a trill marking over a note in the upper staff of Piano 1. The second system includes a four-measure rest marking (4) at the beginning of the first staff of Pno. 1. The third system includes a seven-measure rest marking (7) at the beginning of the first staff of Pno. 1. The score features complex rhythmic patterns, including sixteenth and thirty-second notes, and various articulations like slurs and accents.

譜例 6 連弾のための Monster (CHI-MEY) より

運 指

ピアノの演奏教育においては、運指（指づかい）は重要な項目である。楽譜に記された指の番号は、作曲者の表現であり、作品の一部である。運指によってフレージングやアーティキュレーションを表し、あるいは合理的に演奏できるような方法を親切に示している場合もある。左右各5本の指にはそれぞれ個性と機能がある。例えば4の指（薬指）を使えば乱暴な音にはならない。1の指（親指）は強い音を出すことはできるが、不器用で音色のコントロールがつきにくい。トリルも同音連打も、運指次第で敏捷で美しい演奏になる。的確で合理的な運指が良い演奏につながるため、「指づかいを守って弾きなさい」という指導が必然となる。

しかし一方、モーツァルトは「弾けるなら、鼻で弾いてもかまわない」と言ったという。ドビュッシーは「12の練習曲」（1915）の序文のなかで次のように述べている。

この練習曲集では故意に指使いを記入していない。以下その理由を手短かに述べれば、

指使いの指定は、論理的には、いろいろちがった形の手には適用しないわけである。現代のピアノ奏法では、これはいくつもの指使いを重ねて書きこむことによって解決したと信じられている。しかし、これは煩瑣以外なものでもない。……そうなると、譜面は不可解な現象によって、指をなんじゅうにも増やす奇怪な手術を受けたかのごとき観を呈する。……

初期のクラヴシニスト、モーツァルトのごとき場合は、かれの楽器ではある和音の音符を一度におさえきれないので、その中の音の一つを鼻の先でおさえることを考えたが、これは問題の解決にはならないし、おそらく楽譜編集者が熱心のあまり想像をたくましくした結果であろう。

わが古き巨匠たちは——私のいうのは“わが”すばらしいクラヴシニストたちの話です——指使いのことなど少しも気に病まなかった。これは、かれらが同時代の人々の巧妙さに万幅の信頼をおいていたからにちがいない、現代の大家のそれを疑うのは、心無きしわざといわねばなるまい。

以上を要するに、指使いを記入しないのは、良い勉強になるし、とかくわれわれに作曲者の指使いを無視せざるをえなくさす反抗の精神をおさえ、“天はみずから助くる者を助く”という永遠の格言を証明するゆえんとなろう。

自分で指づかいをさがそうではないか！ C. D.

モーツァルトや、ドビュッシーの言葉は、もちろん指が欠損している子どもたちのために述べ

られたわけではない。しかし、運指について語りながら、自由で自律的な演奏を促している。

ピアノはもともと左右5本ずつ合計10本の指を使って弾くものであるが、しかし合計2本でも、3本でも弾くことができる。それはいろいろな奏法が可能であるピアノという楽器の持つ表現力、可能性の大きさによるところでもある。先天性の四肢障害があっても、ピアノを弾くこと、指導することは、演奏にもっと柔軟に取り組むことを教えてくれている。運指の問題に限らず、音楽は、いつでも工夫して楽しめることや、演奏を諦めなくてよいということを示唆している。

ま と め

先天的な障害に加えて、事故などで指を失う場合もある。そのために弾けないピアノ曲は数多くある。しかし、弾くことのできる曲もかなりあり、編曲することも、作曲することも考えればピアノの演奏に対して無限に取り組むことができる。

先天性四肢障害児父母の会では、小学校の音楽の授業で使うリコーダーについても取り組んできた。障害があっても演奏できるように工夫した特注・改造リコーダーもいろいろな種類のもので作られるようになってきた。前述の韓国のピアニスト、イ・ヒアの場合、ピアノを教えてくれる先生を探すのに苦労があった。日本でも指の欠損のある子どもたちがピアノを習いたくて先生をさがすと、「指導に自信がない」とレッスンを断られることがあるという（中村 2003）。障害があっても演奏できるような楽器や、楽譜の工夫、環境づくりが進むことによって、演奏する喜びを感じ、音楽を表現することができて、それが自信につながっていく。ピアノの場合は、楽器自体を改造しなくても、練習することができ、そして、ピアノやピアノと同じ鍵盤の電子ピアノも含めて、持ち運ばなくても学校をはじめ、世界中のいろいろな場所にある。様々なジャンルの音楽、様々な演奏方法を受け入れられる、可能性の大きな楽器であるからこそ学ぶ意義も大きい。

《注》

日本でも演奏活動を行い、テレビでも紹介された1985年生まれ韓国のイ・ヒアは左右2本ずつの指のピアニストである。母親の著書「二本指のピアニスト」（ウ・カプスン（兎甲仙）2007）では「病名は、あざらし型奇形」と書かれている。左右の手に指が2本ずつ、両足も膝下を切断する手術を行い、1メートルに満たない身長、知的障害もありながら、ショパンの幻想即興曲などの演奏で話題となり、毎年日本でも演奏会を行っている。

引用・参考文献

- 石丸由理（1988）『ともだちピアノ A』ドレミ楽譜出版社
ウ・カプスン（兎甲仙）（菅野朋子訳 2007）『二本指のピアニスト』新潮社

- 萩野利彦（1990）「手の医学」『手は何のためにあるか』 p. 85
- 先天性四肢障害児父母の会（1984）『ぼくの手，おちゃわんタイプや』三省堂 pp. 140, 152
- 田中カレン（1996）『星のどうぶつたち』カワイ出版
- ドビュッシー, C. (井口基成校訂 1964) 『ドビュッシー集Ⅱ』春秋社 p. 116
- 中村 靖（2003）『ぼくにもリコーダーが吹けた』シンコーミュージック pp. 141, 142
- バイエル（ヤマハ音楽振興会編 2003）『こどものバイエル・ミッキーといっしょ』ヤマハミュージックメディア
- 平吉毅州（1979）『虹のリズム』カワイ出版
- 平吉毅州（1984）『南の風』カワイ出版

（2011年9月27日提出）